



本年 10 月 12 日～15 日の間、時宗総本山清浄光寺（通称・遊行寺）にてお勤めされました『時宗二祖 他阿真教上人 700 年御遠忌法要』の最終日に、普照院を含む時宗第 23 教区有志寺院の檀信徒総勢 35 名で参詣して来ました。（上写真は 2 グループに分けて撮影）ところで、実は参拝前々日にあの東日本で未曾有の風水被害を出した台風 19 号が総本山（神奈川県藤沢市）の真上を通過しており、出発前から参拝旅行の中止を検討する事態となりました。しかしどんなことがあっても是非お参りいただきたいという総本山からの強い願いもあり、意を決して神戸を出発しました。すると小雨は降っていましたが、思いのほか途中の静岡までは行程通り順調です。が、しかし神奈川県に入ると凄まじい渋滞が始まり、総本山到着は予定を大幅に過ぎてしまうことになりました。それでも旅の疲れを感じさせない参拝団の皆さんは修行道場の規律をしっかりと守られ就寝。そして翌朝 5 時からの大法要には凛としたお姿で本堂に入堂され、上写真の『お上人の間』にて「時宗の念仏札」をお上人様（御年 101 歳）から直接お授けいただくことができました。当寺院から代表として参拝された柳育敏総代ご夫婦も、今回の参拝に大いに感激され、出発までの数時間、総本山境内を仲良く散策されておられました。



歳末・お正月には、菩提寺のご本尊様とご先祖様へ感謝とご挨拶のために、お寺・お墓へ家族そろってお詣り下さい。

前月号でご案内させていただいた『日輪の翼：神戸公演』では、当寺院のお檀家さんで今回の舞台演出・美術担当の「やなぎみわ」さんのご好意により、中央卸売市場で3日間公演された舞台において「踊り念仏僧侶」役として、私を含め神戸の時宗僧侶の皆さんと一緒に出演させていただきました。

劇中では迫力のある音楽や役者の方々の見事なパフォーマンスに圧倒されましたが、その激しい動きの中でも時宗の宗教的『静』のエッセンスが見事に織り交ぜられた演出で、本当に感動の連続でした。

あの公演からもうすでに二ヶ月が経ち、プロの方々と共に緊張した日々も過去のものとなってしまいましたが、私たちの時宗の教義である「踊り念仏」を少しでも一般の方々に広めることができたのかな、と今は安堵しています。また会場に来られた普照院の檀家さんにも何度かお声をかけていただき、いつもと少し違った趣旨のお話ができ本当に良い思い出となりました。この紙面上ではありませんが、貴重な経験を積ませていただいたやなぎみわさんに感謝申し上げます。



【令和2年のお寺行事（3月まで）】*4月以降は次号にてご案内させていただきます。

月	日	行事	内容
1月	1~3日	修正会	お正月の初詣の帰りには、是非ご先祖様にも新年のご挨拶にお寺へお越し下さい。
2月	15日	涅槃会（非公開行事）	涅槃会とは、お釈迦様がお亡くなりになられた日に行われる行事です。
3月	20日	春彼岸墓参	午前中、舞子墓園普照院墓地にて。
	23日	春彼岸塔婆供養会	午後2時より、本堂にて。

★変更等がある場合は、後日ご連絡させていただきますので、ご容赦下さいませ。

〔編集後記〕令和という元号が今年の5月から始まりましたがもうすっかり慣れ、「平成」もいつの間にか過去の元号となった感があります。時は無常、そして無情にもどんどん進んでいきます。少しでも悔いを残さぬよう、毎日万事を感謝してお過ごし下さい。また今年は東日本で大きな台風災害が何度もありましたが、新年を迎えるにあたり被災された方々の一日も早い復興と共に、来年はこのような災害等が少しでも起こらぬよう皆様と共に祈りたいと思います。 合掌

発行：[時宗 慈光山 普照院] 責任者 小田義宗

☎652-0853 神戸市兵庫区今出在家町4-1-29

電話 078-671-1787 ファックス 078-330-1187

ホームページ <http://fusyoin.com/>



これからは、お寺もどんどん情報を発信します。

とくに次世代をになう、若い方々・お子様たちに教えてあげて下さい。